

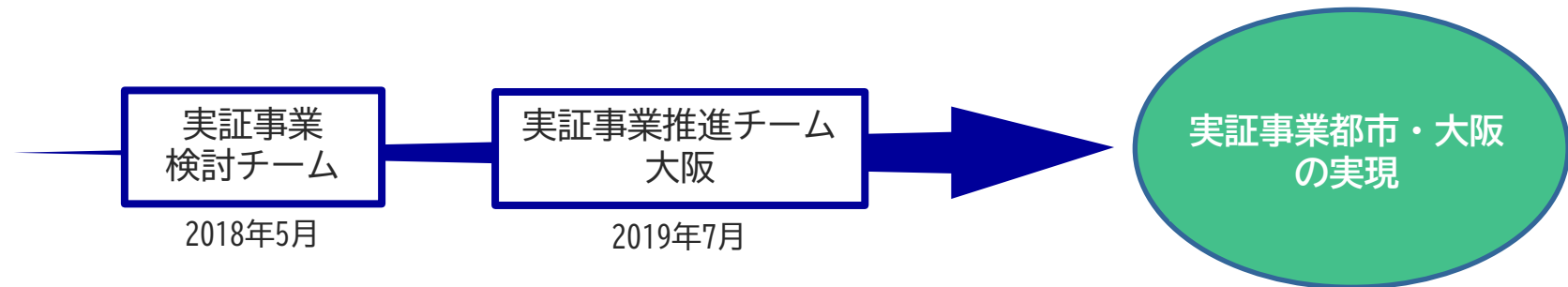
実証事業支援 ご紹介



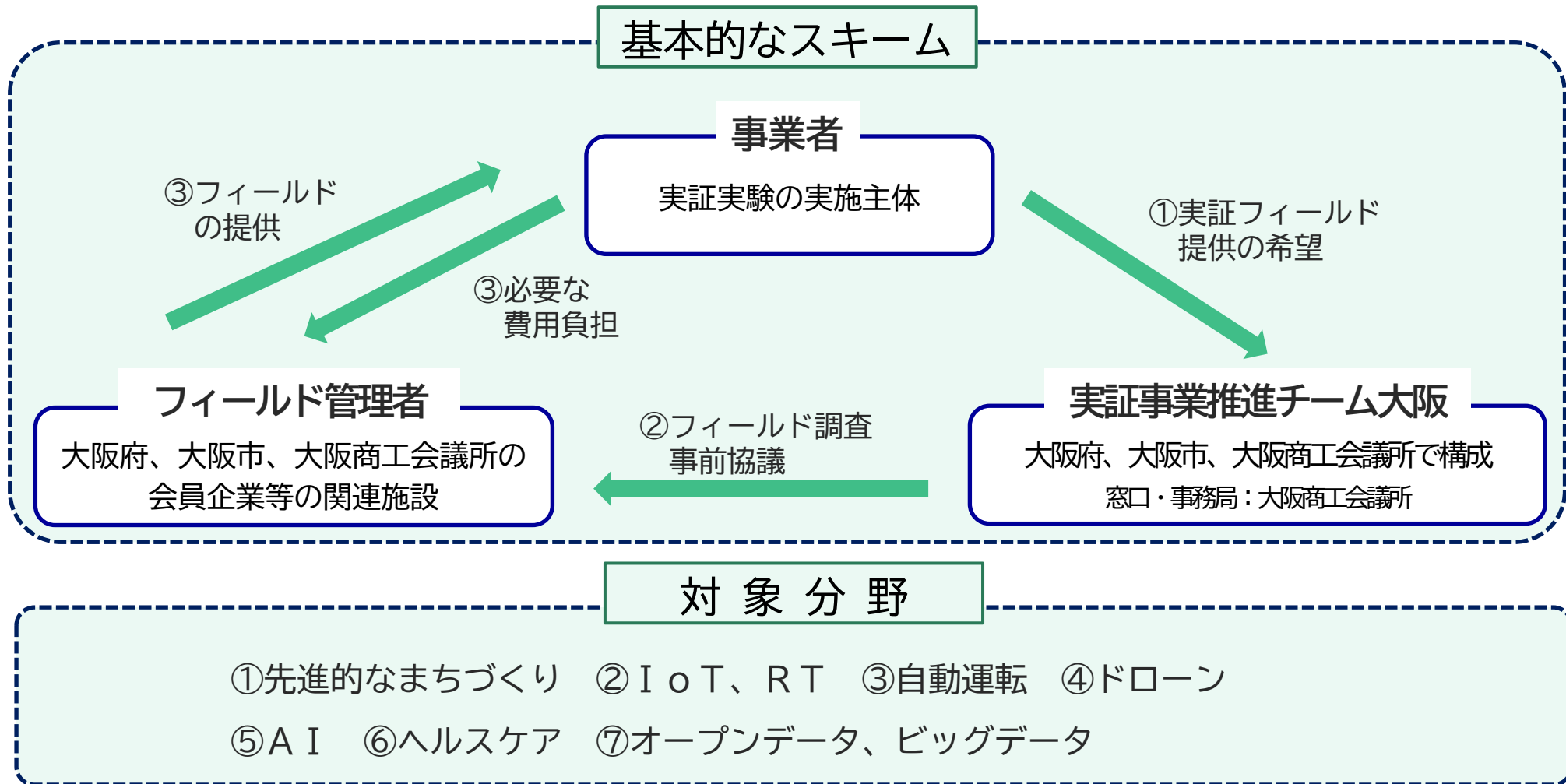
実証事業推進チーム大阪
大阪商工会議所 産業部

1. 実証事業推進チーム大阪とは ①沿革・目的

「未来社会の実験場」をコンセプトとする大阪・関西万博を見据え、
大阪府、大阪市、大阪商工会議所が連携して
大阪での実証実験を希望する事業者を大阪内外から広く募り、
実施からビジネス化までを一体的に支援。
大阪で新しいビジネスを生み出す好循環を創り出し、
「実証事業都市・大阪」の実現をめざします。



1. 実証事業推進チーム大阪とは ②基本的なスキーム・対象分野



1. 実証事業推進チーム大阪とは ③エントリーの受付方法

(1) 常時エントリー受け付け型

先進技術や革新的なテクノロジーを活用した実証実験を随時募集し、大阪府・大阪市・民間企業の施設等を実証フィールドとして提供することで、企業が行う技術実証を後押しする。

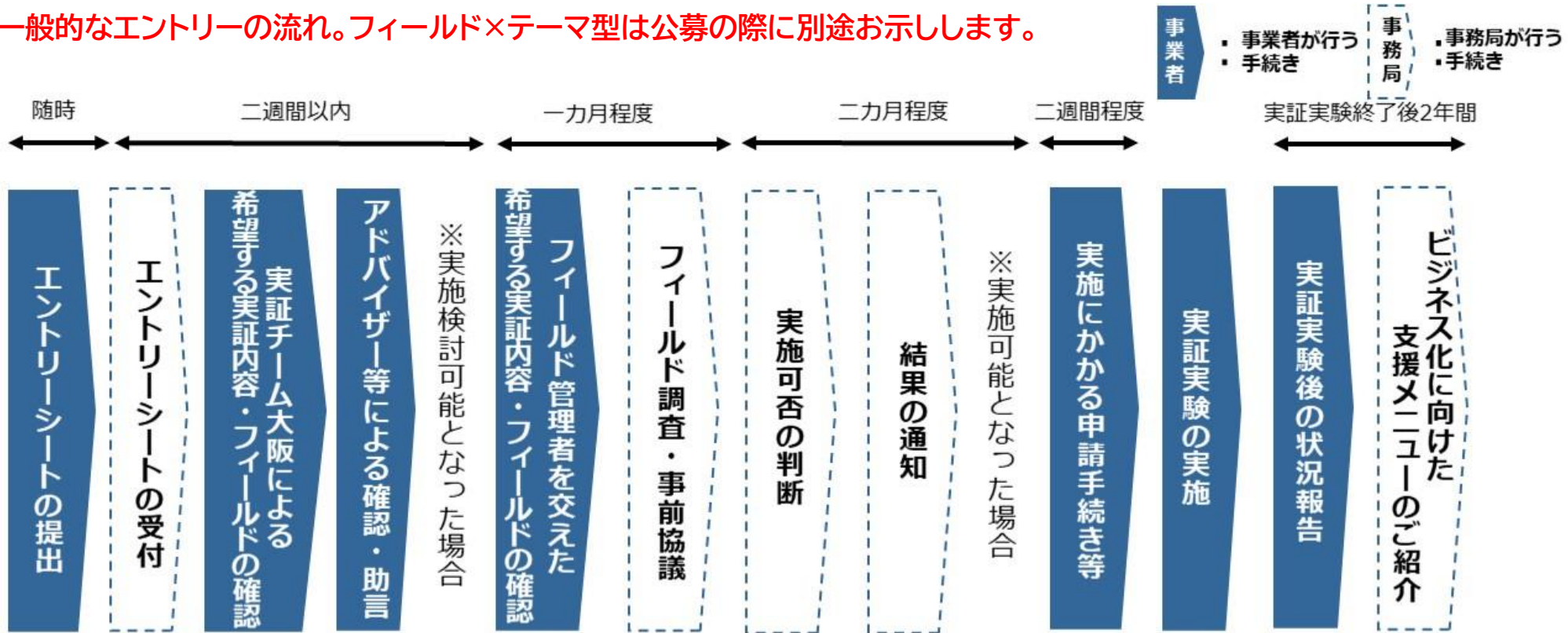
(2) フィールド×テーマ指定型

特定のフィールドを活用して、テーマに沿った実証実験を期間限定で公募し、採択企業が行う技術実証を後押しする。

※公募は年1回程度。公募開催の際は、HP、大商メルマガなどで公表します。

1. 実証事業推進チーム大阪とは ⑤エントリーから実証までの流れ

※一般的なエントリーの流れ。フィールド×テーマ型は公募の際に別途お示しします。



※上記はあくまで実証実験を実施するまでの一般的な流れです。案件により対応や必要な手続き、要する期間等が異なる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

※事務局にてチーム大阪の事業趣旨にそぐわないと判断した場合、実証事業の実施に向けた調整を見送ることがあります。

※実証実験実施後、実施報告をお願いいたします。

(実証実験終了後、2年間、年1回アンケートを実施し、その後の状況をフォローします。必要に応じて適した支援メニューをご紹介いたします。)

※実証実験の実施にあたっては、事務局が定める規約の遵守をお願いいたします。

2. 大阪府・大阪市・大阪商工会議所の支援事業 ～①アイデア段階からビジネス化まで一体的に支援

PHASE 1 アイデア創出・パートナー探索 (実証前支援)

- 【お困りごと】
- ・ビジネスアイデアが生まれない。
 - ・課題仮説の策定に不安がある。
 - ・パートナーを探したい。

大阪府・大阪市・大阪商工会議所 が持つ事業による支援

- ・ハンズオン支援
- ・マッチング支援
- ・各種補助金の活用支援
- ・情報提供

【具体的な支援】

- ・先端技術の情報提供や活用事例などのセミナー・研究会の開催
- ・技術・サービス開発に向けた専門家のアドバイス、産学官連携、企業間のマッチング支援
- ・5G X LAB OSAKAの展示見学・体験など

PHASE 2 実証実験実施場所提供 (実証支援)

- 【お困りごと】
- ・実証実験をしたいが、場所がない。
 - ・実証実験をPRしたい。

実証事業推進チーム大阪

- ・実証実験の実施場所の調整
- ・PR支援
- ・その他支援

【具体的な支援】

- ・公共施設、民間施設など実施場所の相談・調整・提供
- ・実証事業開始時にプレスリリースを実施
- ・規制緩和が必要な場合は、国等への要望・働きかけを実施など

PHASE 3 製品化・事業化 (実証後支援)

- 【お困りごと】
- ・実証実験をした技術や製品をPRしたい。
 - ・実証実験をした技術や製品をアップデートしたい。
 - ・実証実験をした技術や製品をアップデートするため、新たなパートナーを見つけたい。
 - ・5G等を活用して開発した製品を導入させたい

大阪府・大阪市・大阪商工会議所 が持つ事業による支援

- ・ハンズオン支援
- ・マッチング支援
- ・各種補助金の活用支援

【具体的な支援】

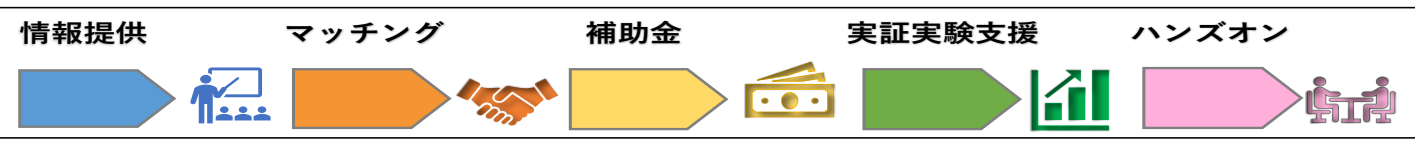
- ・技術・製品のビジネス化に向けたパートナー探索
- ・技術・製品のビジネス化までの伴走支援
- ・5G導入トライアル補助金など

2. 大阪府・大阪市・大阪商工会議所の支援事業 ～②支援事業一覧

大阪府・大阪市・大阪商工会議所の支援事業
は下記URL(2次元バーコード)及び次ページよりご確認ください。

【大阪府・大阪市・大阪商工会議所の支援事業】 ※以下のQRコードからもアクセスいただけます。
https://www.osaka.cci.or.jp/b/pdf24/sup_list.pdf





	実証前		実証	実証後
	構想期	開発期	実証期	事業化期

チーム 大阪			実証実験支援	
-----------	--	--	--------	--

大阪府	MOBIO（国内最大の常設展示場、ビジネスマッチング等）			
	蓄電池、水素・燃料電池等に関する研究開発、試作開発及び実証実験への補助金		AI、IoT等の先端技術等を活用した実証実験への補助金	
	万博での披露をめざして行うカーボンニュートラルに資する最先端技術を用いた最終製品・サービスの開発及び実証への補助金			
	水素や蓄電池などの分野において、大阪でビジネス化をめざすプロジェクトの国事業の活用に向けた調査検討の取組みへの補助金			
	ものづくり企業が行う新たな技術開発への支援助成金			
	新事業展開に取り組む中小企業への補助金			
	スタートアップ支援（若手人材などの起業に対する機運醸成、創業支援プログラムの提供）			
	スタートアップ支援（ビジネスプランコンテストを通じた有望創業者の発掘、優秀事業者への補助金、ハンズオン支援）			
	新事業展開に取り組む中小企業を対象とした伴走支援			
	地方独立行政法人 大阪産業技術研究所（研究・開発・実験にかかる総合的な技術支援）			

大阪商工会議所	技術/環境 研究会			
	Motto OSAKA オープンイノベーションフォーラム			Motto OSAKA オープンイノベーションフォーラム
	SDGs・ESGビジネスプラットフォーム			SDGs・ESGビジネスプラットフォーム
	産官学技術相談窓口			
	都市型オープンイノベーション拠点			X p o r t

大阪市	TEQSセミナー			
	テック・アクセラレーション			
	5Gオープンイノベーション			
	5Gビジネス開発補助			
	5G X LAB OSAKA		AIDOR EXPERIMENTAITION	5G導入トライアル補助
			事業検証（F/S）支援	

2. 大阪府・大阪市・大阪商工会議所の支援事業 ～③活用モデルケース

【企業A】

大阪市「5G X LAB OSAKA」の視察・体験
技術相談・5G検証ラボでの検証
↓
実証事業推進チーム大阪へエントリー
↓
実証事業推進チームで実証フィールドを
調整・提供（AIDOR EXPERIMENTAITIONを活用
した実証実験を含む）
↓
実証実験後、大阪市「5G導入トライアル
補助金」応募・採択
↓
製品性能の確認が取れ、事業化

【企業B】

大阪商工会議所「次世代テックフォーラム」
に参加
↓
大阪府「エネルギー産業創出促進事業補助
金」採択
↓
実証事業推進チーム大阪へエントリー
↓
実証事業推進チームで実証フィールドを
調整・提供（AIDOR EXPERIMENTAITIONを活用
した実証実験を含む）
↓
実証実験後、大阪商工会議所「次世代テック
フォーラム」で開発中の蓄電池に関する部
材・素材の技術ニーズを発表。提案先企業と
マッチングを実施
↓
マッチング先からの部材供給を受け、商品化

3. 参考資料 2022年度実証事業支援実績

(1) 常時エントリー受け付け型

➤ 「中之島チャレンジ2022」における移動ロボットの自律走行技術実証

実施日：2022年7月16日、17日、23日、24日、9月10日、11日、11月5日、6日、26日、27日

実施主体：株式会社プロアシスト

概要：「2025年大阪・関西万博にてゴミ問題に関する実証実験を行う」ことに向け、2022年度はゴミ回収技術(自律移動ロボットに作業機能を付与したマニピュレータ付き自律走行ロボット)に関して更なる項目を検証した。更なる多様な環境での「自律走行」、「ゴミ判別」、「ゴミ回収」に加え、走行に関しては無線による遠隔制御技術の実験も行った。

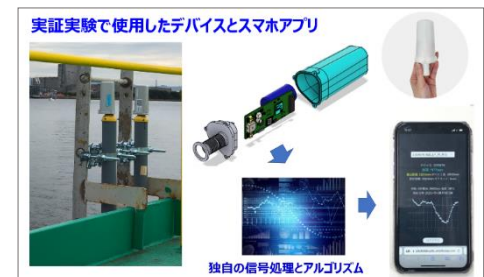


➤ 小型軽量IoT水位センサーの有効性に関する実証実験

実施日：2022年11月21日 ~ 2023年3月28日

実施主体：TSTジャパン株式会社

概要：オールインワン型IoT水位センサーを海面付近の護岸や雨水の貯水槽、ドック地下水槽の3ヶ所に、計6台取り付け、水位を常時測定し遠隔監視した。施工後すぐに遠隔監視開始。今回の実験では、測定精度・範囲、耐久性(防水性能や塩害による耐腐食性等)および施工方法を検証した。



(2) フィールド×テーマ指定型 ～夢洲における実証事業～

～夢洲における実証事業～とは、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と大阪商工会議所が万博開催の機運醸成と未来社会を見据えたイノベーション創出に向けて実施した、2025年大阪・関西万博の会場である夢洲における実証実験の公募で採択されたもので、実証事業推進チーム大阪が実証実験の実施を支援した。(2022年度：全4件) ※実験実施に向けた協議・調整の結果、夢洲以外の地で行った実験も有ります。

➤ 軟弱地盤における「NSエコパイル®」打設・引抜き、および「カルシア改質材」による支持力改良に関する実証実験

実施日：2021年11月8日～2022年7月15日

実施主体：日本製鉄株式会社

概要：軟弱地盤における活用を想定した「NSエコパイル®」打設・引抜き実験では、日本製鉄が開発した「NSエコパイル®」を夢洲内に打設、一部は長期間残置した後に引抜きを行い、埋立地盤における施工の可能性や鋼管杭自体の再利用の可能性を検証した。「カルシア改質材」による支持力改良に関する実証実験では、万博会場予定地の造成工事で発生した軟弱土にカルシア改質材を混合し、数か月を経た後の支持力を検証した。



➤ 自動運転を活用した未来社会の実装検討に関する実証実験

実施日：2022年3月1日～2022年4月26日

実施主体：大阪市高速電気軌道株式会社

概要：大阪市高速電気軌道(株)を代表法人とするコンソーシアムが、万博会場を想定して整備された1周約400メートルのテストコースに複数台の自動運転車両を運行させることで、自動運転走行の一元管理の課題抽出と、非接触充電による電動モビリティへの充電制御に関するエネルギーマネジメントの技術検証を行い、より渋滞が少なくエネルギー効率のよい次世代都市交通システムの構築に向けた実証を目的として実験を実施した。具体的には、自動運転、MaaSアプリ・顔認証、モビリティの管理(遠隔監視)、車内コンテンツ、道路での非接触充電・発電、次世代道路インフラ、保険・リスク管理、信号協調、パーソナルモビリティ等に関する実験を行った。また、技術実証終了後に、テストコースや公道での自動運転車両の一般向け乗車モニター体験を行った。

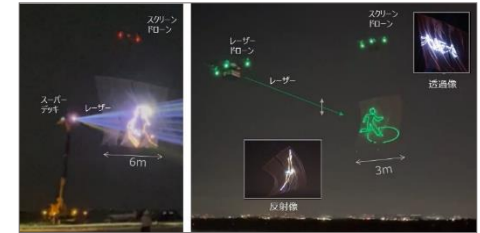


➤ レーザーとドローンによる大空へのサインシステム(標識)に関する実証実験

実施日：2022年8月9日、9月14日

実施主体：国立大学法人大阪大学レーザー科学研究所

概要：ドローンを活用した「ミスト・透過型スクリーン」と「レーザー描画」により、空中に大きなサインシステム(標識)を描く、空間描画技術の実証を行った。さらに、通常なら数百台レベルが必要となるドローン編隊による空中表示を数台以下の少ないドローンで実現することの実証や、プロジェクションマッピングとの比較で、昼間でも空中で視認できるレーザーサインシステム(LSS)の評価実験を行った。
(写真：夢洲での透過型スクリーンへのレーザー空中投影の例)



➤ 自動運転を活用した未来社会の実装検討に関する実証実験[2回目]

実施日：2022年12月1日 ~ 2023年1月31日

実施主体：大阪市高速電気軌道株式会社

概要：2回目の実証実験となる今回は、1回目の実証結果を踏まえ、更なる技術向上、及び新たなサービス提供の検討を行った。具体的には、自動運転、MaaSアプリ・顔認証、自動運転車両の遠隔監視(一部遠隔操作を含む)、車内コンテンツ、次世代道路インフラ、保険・リスク管理、信号協調、パーソナルモビリティ等に関する実験を行った。また、1回目と同様に、技術実証終了後に、テストコースや公道での自動運転車両の一般向け乗車モニター体験を行った。



➤ 都市型自動運転船「海床(うみどこ)ロボット」による都市の水辺のイノベーションに関する実証実験[2回目]

実施日：2022年12月7日、8日

実施主体：株式会社竹中工務店

概要：(株)竹中工務店を代表法人とする海床ロボットコンソーシアムが開発する純国産制御システム搭載の「海床ロボット」を大阪城公園 東外堀に浮かべ、新しいモビリティの活用可能性を検証した。2021年度の実証実験に続き2回目をなる今回は、2台のロボットが自動で航行し連結する「ドッキング機能」および着岸時に栈橋からロボットへ「非接触充電」を行う仕組みを開発し実証した。また、デジタルファブリケーションを活用し、用途に応じて船の上屋を着せ替える仕組みの検証も行った。



➤ 大阪における空飛ぶクルマ社会実装に向けた実証実験

実施日：2023年3月14日、15日

実施主体：丸紅株式会社

概要：社会受容性の向上および実装化に向け、課題を明確化することを目的として、米国LIFT AIRCRAFT INC.製の一人乗り電動垂直離着陸機(eVTOL)“HEXA”を使用し、国の許可が必要な屋外スペースにおいて、パイロットが搭乗・操縦する空飛ぶクルマの実証飛行を実施した。上下飛行、緩旋回飛行等、幾つかの飛行パターンを有人・無人にて実施した。また、飛行時に発する騒音やダウンウォッシュ(風圧風向)測定、電波障害の有無等、周辺環境に与える影響を評価した。



(2) フィールド×テーマ指定型 ～鶴見緑地公園における実証事業～

～鶴見緑地公園における実証事業～とは、1990年に「国際花と緑の博覧会」が開催され、花博のレガシーでもある花博記念公園鶴見緑地をフィールドとした先端技術等の実証実験を今年7～11月に公募し、実施に至ったものです。主たるテーマを「脱炭素」とし、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成する「ゼロカーボン」の実現に貢献する取り組みです。（全3件）

➤ 太陽光発電から冷蔵内蔵型ショーケースへ直接給電する実証実験

実施日：2022年12月21日～2023年2月28日

実施主体：フクシマガリレイ株式会社

概要：太陽光パネルから発電する直流電力を直接給電できるように改良した冷蔵内蔵型ショーケースに、太陽光パネルから得られる直流電力を交流に変換せずに直接冷蔵ケースに供給を行い、冬季期間での稼働の長期安定性及びエネルギー効率性を検証した。



➤ 水と大気中のCO₂等から生成する人工石油(合成燃料)を活用し、発電機を稼働 ⇒ 電気自動車を充電する実証実験

実施日：2023年1月11日～2023年1月17日

実施主体：サステナブルエネルギー開発株式会社

概要： 特殊な光触媒を用いて水と大気中のCO₂からラジカル水(一酸化炭素と水素を含んだ化学反応を起こしやすい活性化水)を作り、そこに種油(初回のみ鑄型として使用するだけで2回目以降は合成燃料を種油の代わりとして使用)と空気中のCO₂を混合することで合成燃料を生成。生成した合成燃料により発電機を稼働させ、電気自動車へ充電できることを実証した。また、合成燃料により発電する際に排出される硫黄酸化物等の大気汚染物質が、化石燃料の場合よりも減少することを確認するとともに発電能力の安定性を検証した。

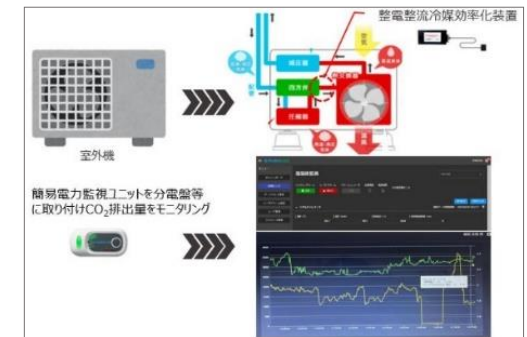


➤ エアコンの省エネ化及び省CO₂化の遠隔監視・可視化の実証実験

実施日：2023年1月17日～2023年2月28日

実施主体：三和建設株式会社

概要： エアコンの室外機に整電整流冷媒効率化装置を取り付けることで、冷媒の性状を改善し、電気使用量及びCO₂排出量を削減する実証を行った。また、分電盤等に取り付けた簡易電力監視ユニットによって、エアコンの電気使用量、およびCO₂排出量を遠隔監視して現状把握し、省エネ化及び省CO₂化の状況を即時に可視化した。



(参考)実証実験の募集

大阪府下の実証フィールドを活用し、
実証実験を希望する事業者を大阪内外から広く募集

実証事業都市・大阪
未来社会を見据えた実験歓迎!
実証実験にぴったりの場所が見つかります!
豊富な支援メニューでサポートします!

実証事業推進チーム大阪

実験フィールド例

<道路、公園、海浜、ダム>

<工場、学校、夜間施設、スポーツ施設>

対象分野

- ①IoT、RTT(ロボティクスナビゲーション)
- ②自動運転
- ③ドローン
- ④AI(人工知能)
- ⑤ヘルスケア
- ⑥カーシェアリング、ロボティクス

基本的なスキーム

支援メニュー

- フィールドの紹介
- 実験に必要となる設備の提供
- 実験費用の一部負担
- 実験結果の分析・評価
- PR支援
- 実験結果の活用に関するアドバイス

エントリーに当たっては、まずはご相談ください!

詳細は「実証実験のご案内サイト」をご覧ください。

お問い合わせ先 実証事業推進チーム大阪 事務局(窓口)
大阪府立産業振興センター 産業振興部 産業・技術振興課
TEL:06-6948-4300 / E-mail:sango@ostaka.or.jp

Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry

Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry

Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry

Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry

Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry

Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry
Osaka Chamber of Commerce and Industry

(参考)ご協力企業の募集

民間企業・団体からも実証フィールドや実証支援サービスの提供にご賛同・ご協力いただける企業・団体を募集

「実証事業都市・大阪」の実現へ！
先端技術を活用した実証実験へのご協力企業を募集しています！

大阪府、大阪市、大阪商工会議所は、「未来社会の実験場」をコンセプトとする2025年大阪・関西万博を見据えて、革新的な実証実験を行いやすい環境を整え、大阪で新しいビジネスを生み出す好機を創り出し、「実証事業都市・大阪」を実現するため、「実証事業推進チーム大阪」を設置いたしました。

同チームでは、大阪府、大阪市、大阪商工会議所の関連施設を実証フィールドとして提供するをはじめ、様々な実証支援を実施しておりますが、民間企業・団体からも実証フィールドや実証支援サービスを募集し、企業間連携による実証実験の支援にも取り組みます。

下記の通り、趣旨にご賛同いただける企業・団体を募集しておりますので、ぜひ、「実証事業都市・大阪」の実現に向け、ご協力をよろしくお願いいたします。

I. 実証フィールドの提供

1. 目的：実証実験を実施したい事業者のニーズにより幅広く対応するため、実証フィールドの提供にご賛同・ご協力いただける企業・団体を募集する。
2. 対象：実証実験の実施を希望する事業者からの提案に対して、自社が保有する施設、スペース、テラス等（大規模内に限る）の提供にご協力いただける企業
3. 費用：原則、無償での提供をお願いします。
4. 実証実験実施までの一般的な流れ：
5. 登録方法：裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、E-MAIL(sangyo@osaka.cci.or.jp)か、FAX(06-6944-6249)でご送付ください。改めて担当から詳細をご連絡いたします。
6. 実証フィールド(例)：

実証事業推進チーム大阪
大阪府 大阪市 OCCI 大阪商工会議所

II. 実証支援サービスの提供

1. 目的：実証実験を円滑に実施できる環境を整えるため、実証実験を支援するサービスや社員の提供にご賛同・ご協力いただける企業・団体を募集する。
2. 対象：実証実験の実施を希望する事業者から相談があった際に、自社が提供するサービスにより実証実験をサポートいただける企業
3. 費用：有償・無償問いません。
4. 支援サービス活用の流れ：
5. 登録方法：以下の申込用紙に必要事項をご記入の上、E-MAIL(sangyo@osaka.cci.or.jp)か、FAX(06-6944-6249)でご送付ください。改めて担当から詳細をご連絡いたします。
6. 実証支援サービス(例)：
 - ① 車両運転用の保険サービス等(有償)
 - ② R6の技術検証環境
 - <あいおいニッセイ同和損害保険株> <株式会社コムエ>
 - <損害保険ジャパン株> <株式会社アイトック>
 - <東京海上日動火災保険株> <クラウド・IoT・衛星データ、プラットフォーム(無償)>
 - <三井住友海上火災保険株> <くらくらインターネット株>

【本件担当】実証事業推進チーム大阪 事務局(窓口) 【大阪商工会議所 産業部】
TEL:06-6944-6300 FAX:06-6944-6249 E-MAIL:sangyo@osaka.cci.or.jp

先端技術を活用した実証実験支援

登録申込み用紙

必要事項をご記入の上、E-MAILかFAXでお送りください。改めて担当から詳細をご連絡いたします。

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当 行 送信先 E-MAIL:sangyo@osaka.cci.or.jp
FAX:06-6944-6249

会社・団体名	(フリガナ)	〒	〇
所属・役職名	氏名	〇	〒
電話番号			
メールアドレス			
登録内容	フィールド提供 支援サービス提供 (該当する方に〇を付けてください。)		

※ご記入いただいた情報は、本件に関するご連絡にのみ使用いたします。 2023.10.28現在

ご提案・お問合せ

ご提案方法

下記WEBサイトのエントリーフォームに、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

【実証実験ご案内ページ URL】 ※右のQRコードからもアクセスいただけます。

<https://www.osaka.cci.or.jp/experiment/>



お問い合わせ

実証事業推進チーム大阪 事務局(窓口)

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当

TEL:06-6944-6300 E-MAIL:sangyo@osaka.cci.or.jp